

山口県介護支援専門員協会だより



平成26年度 第1号 県協会広報事業部

■会長挨拶 ～新たな活動へむけて～

山口県介護支援専門員協会 佐々木啓太

5月10日の理事会において、会長に推挙していただき、会長職になって3年目を迎えることが出来ました。この2年は、協会の立て直し、地域協会とのつながりの強化、日本協会へ意見が言える協会にしていくことなど、様々な活動を行なってまいりました。会員の皆様のおかげで、会の運営状況も安定し、「この会があってよかった」と思ってもらえる活動が実現できる体制が整ってまいりました。

これをもとに、今年度はさらに組織体制を強化し、新たなことに取り組んでまいりたいと思います。

一つは、会員が望んでいる研修企画の強化と法定研修への参画です。介護支援専門員にとって、自己を振り返り、スキルアップのために学びを深めることは、必要不可欠だと考えています。特にアセスメント力の強化は必須だと思います。そのための学びの場を設けていくことは、職能団体である当協会として果たすべき役割と考えています。今後も有用な研修の機会を多く設けること、そして会員であれば参加費を安くできるよう、各種補助金の申請も行いながら会員メリットを感じて頂けるようにもしていきたいです。また、法定研修については現在、山口県社会福祉協議会が県より委託を受けて実施しています。そして、この法定研修も平成28年度には大幅に改定が予定されています。ここについても、職能団体として法定研修へ参画できるよう、県、県社会福祉協議会と協議しながら準備を進めていきたいです。そのための法人化取得に向けても今年度どのような法人格がふさわしいのかについて調査し、議論を深めていきたいです。

二つ目に、会員が日々制度について疑問に感じていることや、もっとこのような制度にならないのかという声を国へ反映していくために、現状の制度について精査し、どのようにすれば国へ意見提言できるかを議論し、その体制を整備していこうと考えています。そのため、調査研究部会において、現状の制度についての整理と、それを会員の皆様へ分かりやすく伝えていけるようにしていきます。また、その整理の中から、次年度の制度改正へ向け、県としての意見として日本協会を通じて国に働きかけていけるようにしていきます。

また、地域とのつながりをさらに強めていくこと、会員の皆様が「楽しい」と思えるような活動などを通じて、つながりを深め、現在会員でない介護支援専門員の方も「入会したい」と思ってもらえるような会になるよう頑張っていきたいです。これからも会員の皆様のご支援、ご協力を何卒お願いいたします。

■総会報告 新体制のご紹介

5月31日、山口県セミナーパークにおいて代議員総会を開催いたしました。当日は56名の代議員の方にお越しいただきました。当日は、昨年度の事業報告と決算、監査報告、今年度の事業計画、予算について審議し、特に異議もなく承認していただくことができました。

また新役員体制についても理事会での決議にもとづき、紹介させていただき、承認していただくことができました。この2年間この役員体制で執行してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

会長	佐々木 啓太	公益事業部	部長	木村 友和	調査		山本 史彦
副会長	橘 康彦			三井 栄三	生涯研修部	部長	岩神 亜紀
副会長	松谷 法史			景浦 佑			藤本 真樹
組織総務部	部長(兼)		松谷 法史	関永 里美			福谷 治夫
		塩見 昌文	脇村 敦子			福井 治枝	
		林 浩二	河本 好英		東郡 富美江		
広報事業部		頃末 能宏	部長	二井 隆一		鶴田 憲一	
	部長	堀田 慎一郎		山本 亜紀	監事	藤本 邦和	
		横山 具寛		田中 陽児	監事	廣兼 裕之	
		岩本 裕子		末富 琢馬	顧問	松永 俊夫	
	渡邊 康浩	調査研究部		佐藤 剛			

